

平成28年度 長岡市三島郡総合的学習教育研究会 活動報告

部長 西澤 真一

I 研修の概要

「体験的な学習をうながす指導の工夫」を研究主題とし、これまで講演会や地域巡検により教師の視野を広げ、自校の指導計画の見直しを図ってきた。これら蓄積してきた地域理解を基にしながら授業研究会を開催し、会員の実践的な指導力の向上を目指した。

1 授業研修会の概要 参加者102名（会員18名）

- (1) 研修会の開催日時、会場
平成28年11月11日（金）
長岡市立脇野町小学校（長岡市脇野町1242番地）

(2) 研修内容

①講演会

講師 神奈川大学 特別招聘教授 安彦 忠彦 様
演題 「次期学習指導要領の方向性とその吟味」

②授業研修会

授業者	活動名	指導者、講演テーマ
高橋 久美子 石黒 由利子	3 学年 「くるくる みしま」	横浜国立大学教授 大内 美智子 様 「生活・総合における主体的で対話的な、深い学びを考える」
明道 乃里子 小池 貴弘	6 学年 「ともに生きる」	金沢大学大学院教授 松本 謙一 様 「今こそ 生活・総合！ー脇野町小学校の取組に学ぶー」

2 講演会の概要 参加者42名（会員17名）

- (1) 研修会の開催日時、会場
平成28年11月16日（水）
長岡市立中之島中学校（長岡市中野東2649番地1）

(2) 研修内容

講師 新潟青陵大学教授 岩崎 保之 様
演題 「総合的な学習の時間における『深い学び』の在り方
ーファシリテーションの実践を中心にー」

II 成果と課題

授業研究会は、昨年度に引き続き県小教研指定研究「総合的な学習の時間」の3年次を迎えた脇野町小学校の協力を得て開催した。3学年では、地域に学び地域を発信する活動が公開され、子どものふるさとをよりよくしたいと思う気持ちが原動力となり意欲的な活動が展開された。6学年では、交流のある陸前高田市の人々の願いと、自らの活動を結び付けて考え、願いをかなえるにはどうしたらよいか、今の自分たちができることは何か、現地での活動体験を生かしながら熱心な話し合いが繰り広げられた。また、講演では、次期学習指導要領の方向性や「育成すべき資質・能力の三つの力」等について、詳しく学ぶことができた。

講演会は、中之島中学校の協力を得て開催した。講師より、総合的な学習の時間における「深い学び」をはじめ、授業におけるファシリテーションの重要性や、ファシリテーションを活用した授業実践など、実際場面に照らして御指導いただいたことは有意義であった。

これらの御指導を基に会員自身の授業改善に取り組んでいくとともに、今ある自校の指導計画の見直しをさらに進めていく必要がある。